

令和2年4月24日

高校3学年のみなさんへ

高校3学年 国語科

国語の授業についての連絡

【現代文B】

1. 「3学年便り」でもお知らせしましたが、「言語と記号」の授業プリント(A4版両面1枚)を、4/27(月)までに進路指導部あて返送用封筒に入れて提出してください。
2. 次回登校日までの課題としては、「クレールという女」の授業プリント(A4版両面1枚)に取り組んでください。(A3版両面1枚の「授業プリント」と一緒に、次回登校日に提出。)ただし、下の通り、解答に1カ所訂正がありますので、注意して勉強して下さい。

「クレールという女」 読解7

(誤)

深い喜び(四字)[二八九・5]

(正)

→

深い喜び(四字)[二八九・5]

どうにもならない挫折(一〇字)[二八九・6]

【古典B】

★古文の学習について。次のstepで学習を進めてください。★

- ①本文を品詞分解する
- ②辞書をひいたり調べたりせずに、自力で現代語訳を作成する
- ③課題として配布されている問題プリントを解く(次回登校日に提出)
- ④Classiに掲載される品詞分解と現代語訳の解答プリントを参考に、予習をしたものを添削する(自力で品詞分解や現代語訳をしたものについて、理解できていない箇所や知らない単語については、文法書や古文単語帳、辞書を使って調べ、知識を確実なものにする。)
- ⑤読解のまとめのプリントを解いて理解を深める(後日Classiに掲載。授業開始後に提出。)

現在、皆さんは①～③までの学習を終えていると思います。そこでまずは『蜻蛉日記』の「うつろひたる菊」についてClassiにアップします。そのプリントを見ながら④の学習を進めてください。追って⑤のプリントがアップされます。

この流れで今後『紫式部日記』の「同僚女房評」、漢文についてもClassiにアップしていきます。

◆「うつろひたる菊」の学習のポイント◆

・『蜻蛉日記』は日記文学というジャンルです。(日記文学や作者の藤原道綱の母については便覧の該当箇所を必ず読んでください) 日記文学は作者の視点が常に「私」です。よって主語や対象となる人物をわざわざ言わない文体を持つものが多いのが特徴です。常に「誰が?」「誰に?」と人物を明確にしながら読むことを心がけましょう。

・本文では多くの和歌が詠まれています。和歌の理解は古文読解上不可欠です。和歌の修辭法(掛詞や縁語)について、文法書(朝顔)で必ず確認をしておきましょう。

《国語科の課題について》

皆さんの手元には、春休みの課題と休校期間の課題がストックされていると思います。次回の登校日(現段階では5/7)に、古典の一部のプリントを除いて全て提出していただきますので、計画的に学習を進めてください。